

# 株主通信

第88期第2四半期

(2013年4月1日～2013年9月30日)

# JANOME

蛇の目マシン工業株式会社

証券コード：6445



## 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第88期第2四半期(2013年4月1日から2013年9月30日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国財政問題、欧州政府債務問題の長期化や、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化により先行きの不透明感は払拭できないものの、米国や欧州で個人消費が増加するなど弱含みながら景気回復傾向が続きまして。

わが国経済におきましては、政府の経済政策、日銀金融政策が実施される中、円安・株高に後押しされる形で輸出ならびに個人消費が回復し、企業収益が改善するなど、緩やかな景気回復が見られました。

このような中、当社グループは、当期を初年度とする中期経営計画に基づき、経営資源の重点注力、研究開発のスピードアップならびにトータルコストダウンに取り組みました。その結果、当社グループの**総売上高は21,644百万円(前年同期比13.3%増)**、**営業利益は1,268百万円(前年同期比30.7%増)**となり、第1四半期において事業再編損を営業外費用として計上したものの、**経常利益は629百万円(前年同期比152.0%増)**、**四半期純利益は259百万円(前年同期は5百万円の四半期純損失)**となりました。

なお、中間配当につきましては、利益配分のための内部留保の蓄積ができておらず、株主のみなさまには誠に申し訳ございませんが、無配とさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



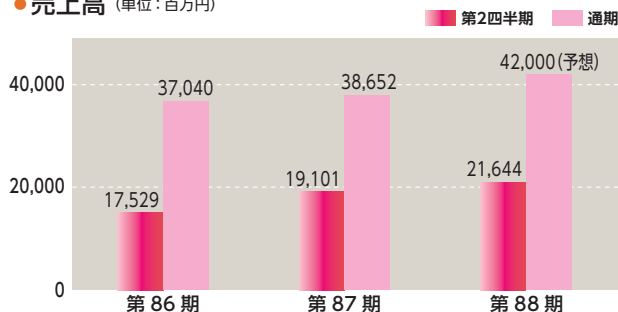
代表取締役社長 **真壁 八郎**

## 目次

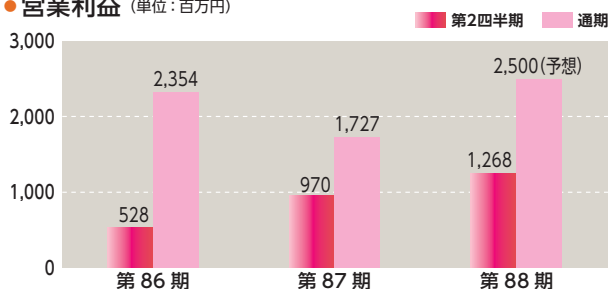
- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概要
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 6 トピックス
- P. 9 ジャノメソーイング教室
- P. 10 会社概要 他

# 連結決算ハイライト

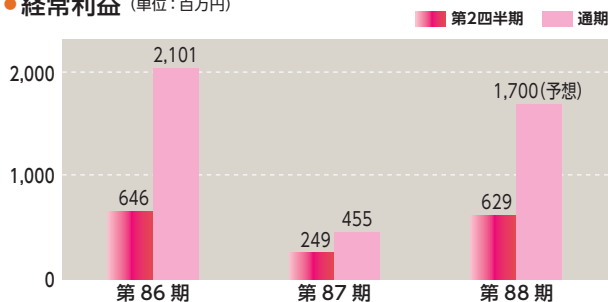
## ●売上高 (単位: 百万円)



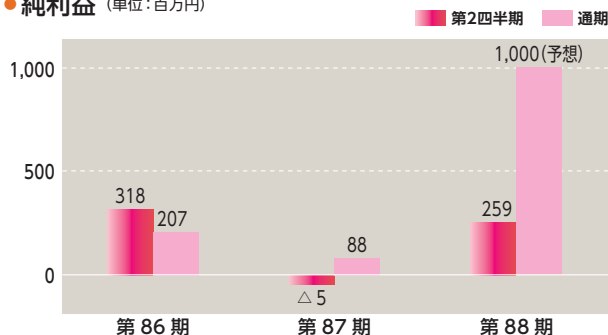
## ●営業利益 (単位: 百万円)



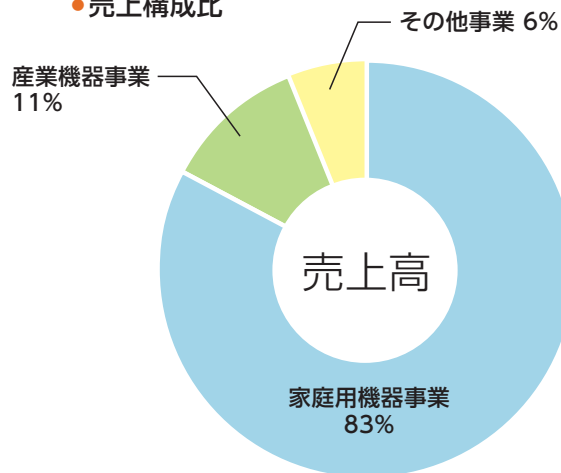
## ●経常利益 (単位: 百万円)



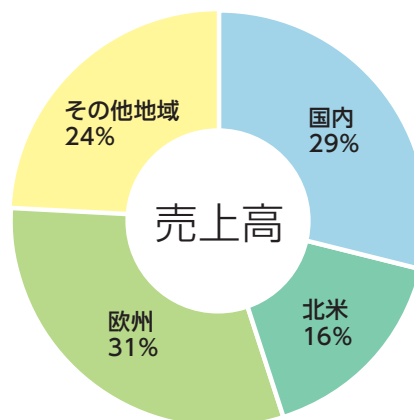
## ●純利益 (単位: 百万円)



## ●売上構成比



## ●地域別セグメント



※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.janome.co.jp>

## 家庭用機器事業

海外ミシン市場におきましては、先進主要国の緩やかな景気回復を受け、米国・英国をはじめとした海外販売子会社が堅調に推移いたしました。また、地域別ではロシア向けが大きく伸長し、欧州、中東などの代理店向け販売も好調であったため、海外ミシン販売台数は97万台（前年同期比約4万台増）となりました。また、8月末に米国ラスベガスで発表した最高級機種「HORIZON Memory Craft 15000」（P.7トピックスをご参照下さい）が好評を博しており、為替も前年同期比で大幅な円安となった結果、**海外売上高は14,324百万円（前年同期比27.4%増）**となりました。



HORIZON Memory Craft 15000

国内市場におきましては、低価格ミシンの販売台数減少により、国内ミシンの販売台数は9万台（前年同期比約1万台減）となりましたが、付加価値の高い機種や24時間風呂販売が堅調に推移したこともあり、**国内売上高は3,690百万円と前年同期比3.8%減**にとどまりました。

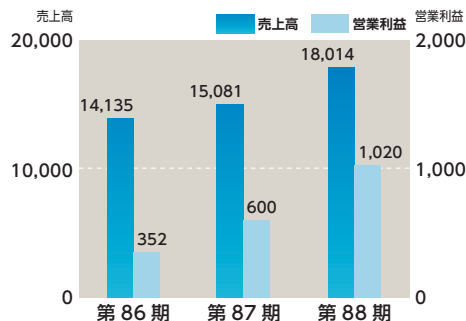
以上の結果、ミシン販売台数は過去最高の106万台となり、**家庭用機器事業の売上高は18,014百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益は1,020百万円（前年同期比69.9%増）**となりました。

## 事業概要

ミシン・24時間風呂等の家庭用機器の製造・販売

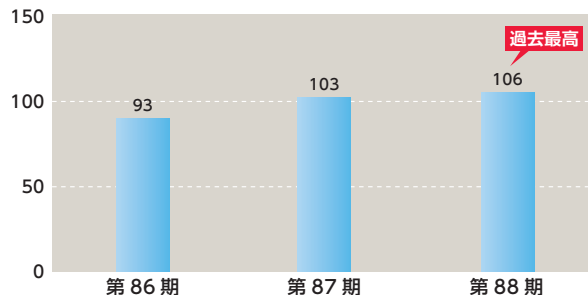
## 売上高・営業利益（第2四半期）

（単位：百万円）



## ミシン販売台数推移（第2四半期）

（単位：万台）



## 産業機器事業

産業機器事業におきましては、国内市場及び中国や東南アジアの新興国市場に重点をおき、携帯電話・スマートフォン等の情報端末機器や自動車部品などの製造関連企業を中心に積極的な販売活動を展開した結果、受注減少傾向に歯止めがかかりました。この回復基調は徐々に確実なものとなっておりますが、残念ながら前年同期には届かず、卓上ロボット・エレクトロプレス販売台数は前年同期を下回り、売上高は2,380百万円(前年同期比12.8%減)、営業利益は244百万円(前年同期比37.0%減)となりました。

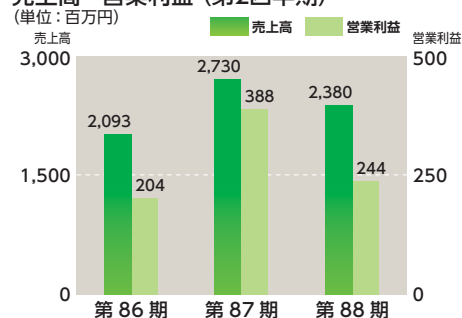


卓上ロボット JR-V2303

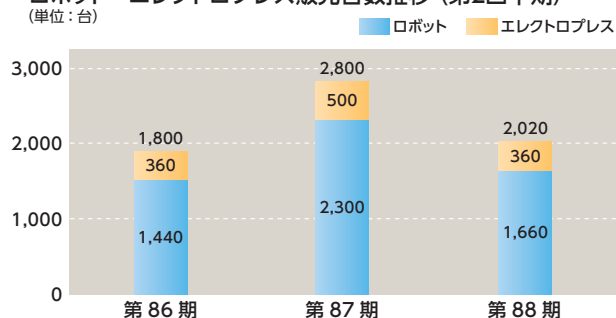
### 事業概要

卓上ロボット・エレクトロプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

### 売上高・営業利益 (第2四半期)



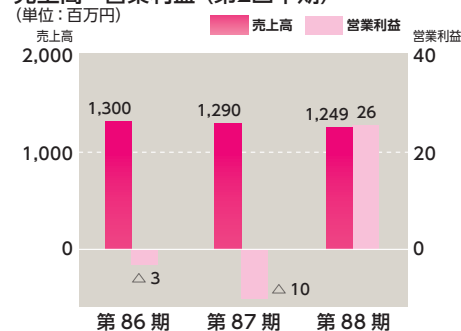
### ●ロボット・エレクトロプレス販売台数推移 (第2四半期)



## その他事業

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸収入を加えたその他事業の売上高は1,249百万円(前年同期比3.1%減)となりましたが、一般管理費の削減等により営業利益は26百万円(前年同期は10百万円の営業損失)となりました。

### 売上高・営業利益 (第2四半期)



### 事業概要

ITソフトウェア・情報処理サービス、24時間風呂の据付・メンテナンスサービス、不動産賃貸 他

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当第2四半期	前 期
	2013年9月30日	2013年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	21,987	20,170
固定資産	30,308	30,012
<b>① ▶ 資産合計</b>	<b>52,296</b>	<b>50,183</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	19,477	15,987
固定負債	15,673	17,822
<b>② ▶ 負債合計</b>	<b>35,150</b>	<b>33,810</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,284	10,024
その他の包括利益累計額	6,263	5,810
少数株主持分	597	537
<b>③ ▶ 純資産合計</b>	<b>17,145</b>	<b>16,373</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>52,296</b>	<b>50,183</b>

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当第2四半期	前年同期
	自2013年4月1日 至2013年9月30日	自2012年4月1日 至2012年9月30日
売上高	21,644	19,101
売上原価	13,291	11,554
売上総利益	8,352	7,546
販売費及び一般管理費	7,084	6,576
<b>営業利益</b>	<b>1,268</b>	<b>970</b>
営業外収益	122	244
営業外費用	760	964
<b>経常利益</b>	<b>629</b>	<b>249</b>
特別利益	5	1
特別損失	20	21
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>614</b>	<b>230</b>
法人税等	311	238
少数株主利益(△損失)	44	△2
<b>四半期純利益(△損失)</b>	<b>259</b>	<b>△5</b>

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当第2四半期
	自2013年4月1日 至2013年9月30日
<b>④ ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>907</b>
<b>⑤ ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△553</b>
<b>⑥ ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>14</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,278

POINT

①資産の部

流動資産が受取手形及び売掛金の増加等により前期末に比べ1,817百万円増加いたしました。  
固定資産はソフトウェア投資による無形固定資産の増加等により前期末に比べ296百万円増加いたしました。

②負債の部

負債の部は、流動負債が短期借入金の増加等により前期末に比べ3,489百万円増加いたしました。  
固定負債は長期借入金の減少等により前期末に比べ2,148百万円減少いたしました。

③純資産の部

純資産の部は、利益剰余金の増加等により前期末に比べ772百万円の増加となりました。

④営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益614百万円、売上債権の増加852百万円、仕入債務の増加1,115百万円などによる資金の増減があり、907百万円の資金の増加となりました。

⑤投資活動によるキャッシュ・フロー

機械・金型等の有形固定資産取得による支出311百万円、ソフトウェア等の無形固定資産取得による支出242百万円などにより、553百万円の資金の減少となりました。

⑥財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加2,802百万円、長期借入金の返済による支出2,733百万円などにより、14百万円の資金の増加となりました。

## ●ジャノメタイランド社がミシン出荷累計1,000万台を達成 (2013年7月25日)

ジャノメタイランド社がミシン出荷累計1,000万台を達成いたしました。

同社では、1988年9月からミシン生産を開始し、2007年9月に500万台、2012年9月に900万台を達成してから10ヶ月の短期間で、出荷累計1,000万台を達成することができました。

現在、同社では普及タイプのミシンを生産していますが、海外販売台数の増加に伴い年々生産台数が増え、2012年度では124万台を生産・出荷いたしました。

今後も品質方針である「お客様の要求に合った品質・コスト・納期で製品を提供し、満足と信頼を得る」ことを徹底し、2,000万台の達成に向けて、当社グループの生産拠点としての地位を確固たるものとするよう努力していきます。



## ●台湾に産業機器の販売会社を設立 (2013年8月20日)

台湾・新竹県竹北市に産業機器販売会社を設立いたしました。

これにより、営業活動、技術サポートを強化するとともに、新たに現地代理店の開拓を行い、台湾島内並びに台湾を起点とした中国・アジア新興国向けに産業機器製品の販売拡大を図ります。

商号：台湾車楽美機械設備股份有限公司  
(Janome Industrial Equipment (Taiwan) Co., Ltd.)  
資本金：2,000万新台湾ドル(邦貨：約6,700万円)  
出資比率：蛇の目ミシン工業株式会社 100%  
事業内容：卓上ロボット、エレクトロプレス等の産業機器製品並びに部品・アクセサリーの輸出入・販売及び付随するサービス業務

## ●Janome Institute 2013を開催 (2013年8月25日～28日)

アメリカ ネバダ州ラスベガスにて、アメリカ国内のディーラーに加え、世界30カ国以上から約1,200名を迎え、当社グループで最大規模を誇る代理店会議「Janome Institute 2013」を開催いたしました。

開催期間中には、作品づくりやミシンの修理方法から効果的なマーケティングの方法まで、多岐にわたり講習が行われました。

また、参加者が当社の開発担当者への疑問や、製品開発に関わる提案・要望を直接伝えることができるブースも設け、連日多くの来訪者から数多くの貴重な声を聴くことができました。



<HORIZON Memory Craft 15000>



なお、この会議で当社は、新たにiPad等との無線通信を可能にした海外向けミシンの最高級機種「HORIZON Memory Craft 15000」を発表いたしました。

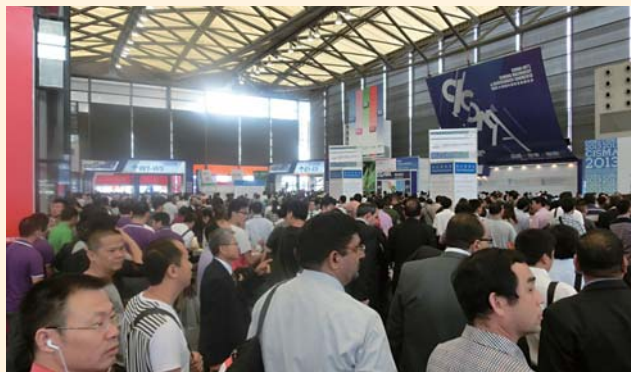
欧米では家の中にソーイングルームがあるなど、小物や洋服作りからキルト作品の製作まで盛んに行われています。「HORIZON Memory Craft 15000」ではミシンとiPad等との無線通信が可能になったことで、ミシン本体と離れたところから刺しゅうデータを編集したり、刺しゅうをしている時に別の部屋へ移動しても、iPad等を通じて刺しゅうの進捗状況が確認できるなど、ソーイングの利便性向上と新たな可能性を提案し、多くの参加者から高い評価をいただきました。



## ●各展示会への出展

2013年9月25日から28日まで、中国・上海で開催された、「2013 中国国際縫製設備展覧会 (CISMA 2013)」に出展いたしました。

CISMAは2年毎に開催される国際的な縫製機器の展示会で、世界最大規模を誇ります。当社ブースには、中国国内に限らず、アジア、中東、中南米諸国を始めとした世界中の多くのお客様にお越しいただきました。



<CISMA 2013(上海)>



<Mega Artesanal(サンパウロ)>

また、本年4月に設立したジャノメブラジル社がブラジル最大のホビーショーである「Mega Artesanal」、ジャノメメキシコ社がキルト&パッチワークを主体とした一般向けの展示会「Expo Quilt Mexico」、ジャノメアメリカ社が出展規模1,000社以上の「Creative & Lifestyle Arts Show」にそれぞれ初出展するなど、世界各国の展示会へ積極的に出展いたしました。

国内においては、著名なキルト作家による作品展示やさまざまな催しが行われた「北海道キルトウィーク2013」・「新潟キルトウィーク2013」、3万5千人を超える入場者数を記録した手芸関連のイベント「2013 OSAKA 手づくりフェア」に出展したのをはじめ、アパレル産業のあらゆるシーンを網羅した展示会「東京ファッション産業機器展 (51st FISMA TOKYO)」など多種多様な展示会に出展し、当社製品のPRに努めました。



<2013 OSAKA 手づくりフェア>

## ウールの クリスマス オーナメント

### 作り方

#### \* 材料 \*

- ウール(こげ茶) …… 20×16cm×2枚
- ウール(ベージュ装飾用) …… 適量
- リボン …… 10cm
- 綿 …… 適量

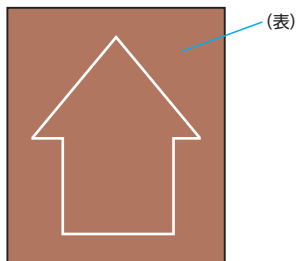
#### \* 道具 \*

- ピンキングはさみ

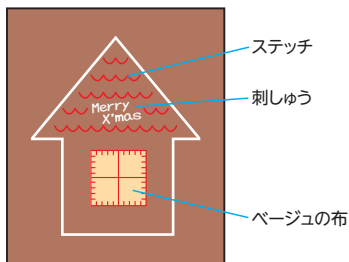
※製作時間:30分程度



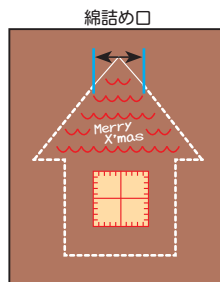
- ① こげ茶の布にお好みの絵を描く。



- ② お好みの刺しゅうやステッチを加え、ベージュの布でアップリケするなど装飾する。



- ③ もう1枚の布を外表に重ねて、描いた絵のライン上を直線縫いで縫う。(綿詰め口をあけておく。)



- ④ ピンキングはさみで周りをカットする。



- ⑤ 綿詰め口から綿を詰める。

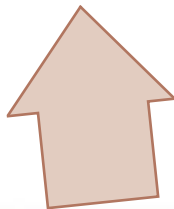


- ⑥ リボンをはさみ綿詰め口を直線縫いで縫う。



完成♪

クリスマスモチーフに  
いろいろ作ってみましょう!



## 当社の環境への取り組み

当社は『自然と人が調和した地球環境の保全』が人類共通の最重要課題の1つであることを認識し、企業活動のなかで環境の保全に配慮し、社会の持続的発展に貢献する。」という理念のもと、環境方針を策定しています。( <http://www.janome.co.jp/company/environment.html> )

また、「グリーン調達ガイドライン」を定め、自然と人が調和した地球環境の保全を目的として、環境の負荷となる科学物質などの少ない原材料や部品を優先的に採用するなど、環境対策に取り組んでいます。

2000年11月にはISO14001(環境マネジメントシステム)を取得しており、本年の定期審査においても、人材育成のための教育計画・運用と経営者の資源投入への理解・姿勢が評価され、合格いたしました。今後とも環境に対する意識を高め、環境対策に積極的に取り組んでまいります。

## 当社はピンクリボン運動を応援しています

当社ではピンクリボンモデル商品の売上げの一部を、公益財団法人日本対がん協会の「乳がんをなくす ほほえみ基金」に寄付しています。

ほほえみ基金とは、公益財団法人日本対がん協会が乳がん征圧のために設けた基金です。ほほえみ基金で集められた寄付金は、主にマンモグラフィや検診機器の整備、医師・放射線技師の育成、患者支援などに役立てられます。

また、ジャノメアメリカ社においても「ピンクリボン運動」を応援しており、ジャノメUK社(イギリス)では、がんや難病の子供たちへの支援活動に協力するなど、ジャノメグループでは海外での各種社会福祉活動も応援しています。



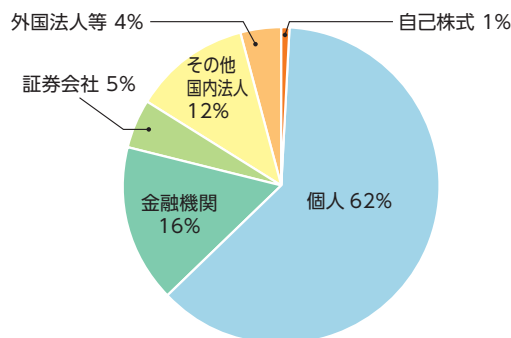
### ●会社概要 (2013年9月30日現在)

商号	蛇の目シン工業株式会社
英訳名	JANOME SEWING MACHINE CO.,LTD.
本社	東京都八王子市狭間町 1463 番地
創業	1921 (大正10) 年 10 月
設立	1950 (昭和25) 年 6 月
資本金	113 億 7,300 万円
連結従業員数	3,802 名

### ●株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行済株式総数	195,214,448 株
株主数	17,118 名 (前期末比 754 名減)

株主構成比率 (所有株式数ベース)



## ● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社  
口座管理機関
- 同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で  
行っております。
- 公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により  
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 公告掲載の URL <http://www.janome.co.jp>

---

### 株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

---

### 蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL. 042 (661) 3071

